

第3章

都市の将来像

1. 上位・関連計画の位置づけ
2. 都市の主要課題と求められる対応方向
3. 都市の将来像
4. 将来都市構造

第3章 都市の将来像

1 上位・関連計画の位置づけ

本計画に関連する上位計画・関連計画について、「広域的な役割」「都市的土地利用」「自然的土地利用」「交通環境」「防災・経済」の観点から位置付けられている主要施策の抽出を行います。

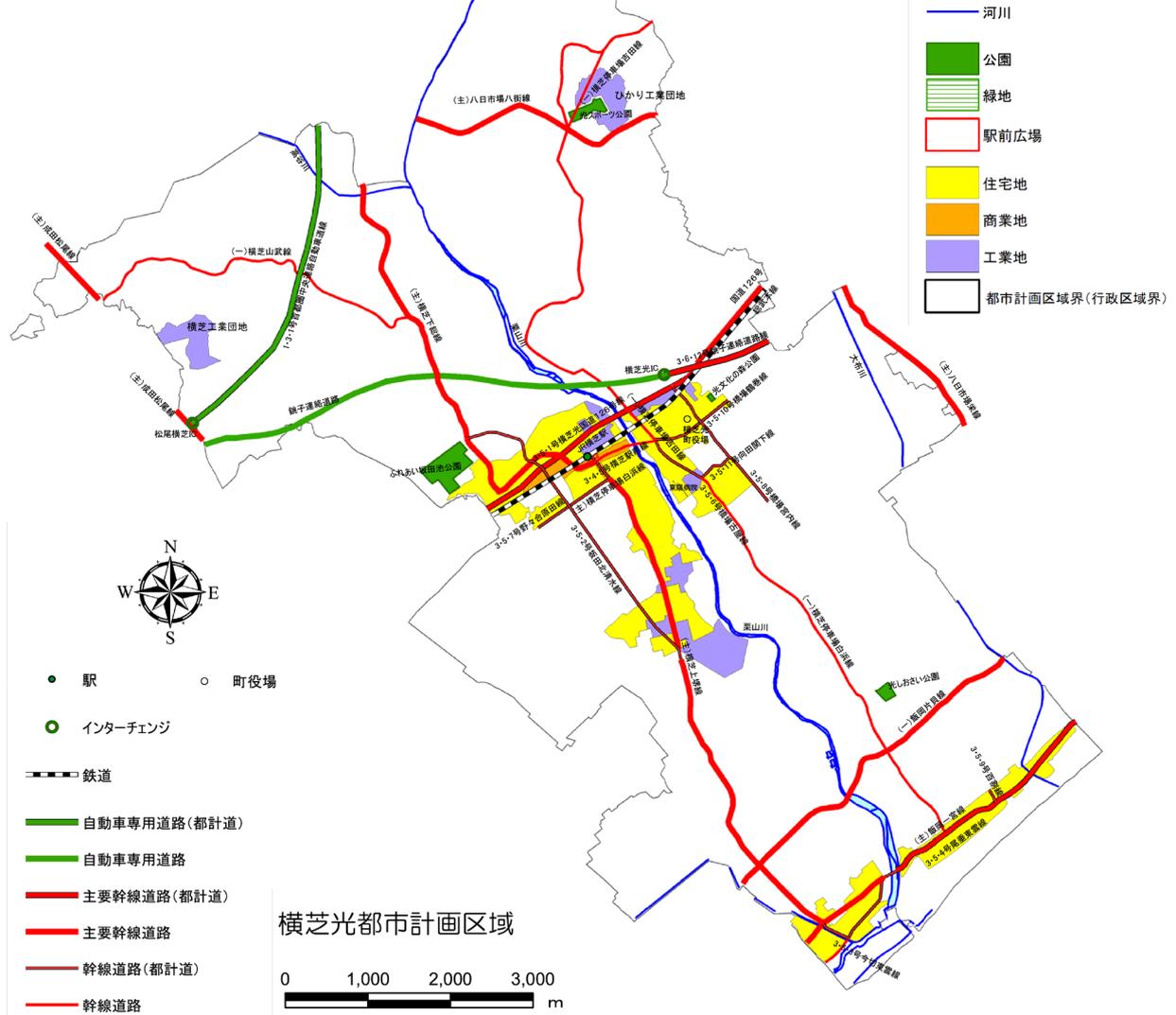
横芝光都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

広域的な役割・位置づけ	<ul style="list-style-type: none">■ 千葉県における都市づくりの方向性<ul style="list-style-type: none">● 人々が集まって住み、活力あるコミュニティのある街● 圏央道等の広域道路ネットワークの波及効果により活性化する街● 人々が安心して住み、災害に強い街● 豊かな自然を継承し、持続可能な街■ 横芝光町の都市づくりの目標<ul style="list-style-type: none">● 栗山川を中心として一体性があり、人・自然・文化が共生し、都市拠点を中心とした集約型の都市づくり● 新たな産業地の形成と、農業振興と連携した地域振興等による活力ある都市づくり● 安全安心して快適に暮らし続けられる人にやさしい協働の都市づくり■ 地域ごとの将来像<ul style="list-style-type: none">【北部地域】<ul style="list-style-type: none">● 自然環境との調和に配慮しながら地域の活性化に寄与する産業集積を図る【中央地域】<ul style="list-style-type: none">● 都市機能の充実と新たな居住環境の形成を図る【南部地域】<ul style="list-style-type: none">● ゆとりある田園風景や美しい海浜部の景観を生かし、これらと調和したゆとりある住宅地と別荘地、観光商業・レクリエーション施設の集積により観光振興を図る■ 都市づくりの基本方針<ul style="list-style-type: none">● 横芝駅周辺地区、役場や東陽病院周辺地区の都市拠点における既存の都市機能と公共サービスの維持・充実、利便性と拠点性の高い集約型都市構造の維持・充実を目指す● 圏央道・松尾横芝インターチェンジ、銚子連絡道路・横芝光インターチェンジの周辺地域においては、地域振興に資する業務機能等の計画的な誘導・集積を図る● 災害に強い都市づくりを推進する● 環境負荷を低減する都市づくりを推進する
都市的土地利用	<ul style="list-style-type: none">■ 土地利用に関する主要な都市計画の決定の方針<ul style="list-style-type: none">【商業・業務地】<ul style="list-style-type: none">● 横芝駅南口地区では、個性ある街づくりのための駅前市街地としての整備を図る● 横芝駅西地区では、広域的サービスを提供する商業・業務・サービス施設が集積する土地利用を図る● 既存商店街では、沿道商業地として日常（近隣）サービス型の商業・業務・サービス施設が集積する土地利用を図る● 銚子連絡道路・横芝光インターチェンジ周辺地区では、地域特性を踏まえた商業・業務施設が集積する土地利用を図る● 沿岸地区では、未利用の公用地を活用し、観光振興・雇用促進・経済発展のための土地利用を図る

都市的土地利用	<p>【工業地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 横芝工業団地及びひかり工業団地では、良好な工業環境の保全・育成を図る ● 銚子連絡道路・横芝光インターチェンジ周辺地区では、周辺環境と調和した工業系の土地利用を図る ● 国道 126 号沿道及び北清水地区では、アクセス道路の整備拡充により、交通便利性の高い工業地の形成を図る ● 東陽病院東側地区では、工業地と住宅地の共存に配慮した土地利用を図る <p>【住宅地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 横芝駅南側沿道商業地隣接地区や役場・図書館周辺地区等において低層集合住宅も含む住宅地の形成を図る ● 田園集落や自然に囲まれた住宅地や海浜住宅地等の住環境の保全・形成を図る ● 航空機騒音障害防止地区に指定されている住宅地における、現状の生活環境に配慮した住環境の保全を図る
自然的土地利用	<p>■土地利用に関する主要な都市計画の決定の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市街地内や集落地の緑地や北部丘陵部の斜面緑地、栗山川等の自然環境の保全・育成・活用を図る ● 農地の保全を図り、農業生産基盤の整備を進める <p>■自然的環境の整備又は保全に関する主要な都市計画の決定の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公園緑地におけるユニバーサルデザインの推進、防災との連携を図る ● 栗山川を軸とした水と緑のネットワークづくりを進める ● 貴重な自然的・歴史的景観の保全・育成を図り、都市拠点や生活交流拠点における都市景観づくりを進める ● 栗山川を中心に既存池・沼等において親水空間やビオトープ空間等の維持・形成に努める
交通環境	<p>■都市づくりの基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 交通ネットワークによる、拠点間を相互に連携させる集約型都市構造の形成を図る <p>■都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 広域道路ネットワークとして圏央道、銚子連絡道路等の整備促進を図る ● 広域交通軸やインターチェンジの整備を踏まえた都市交通軸の強化を図る ● 都市の利便性と一体性を高める生活軸（補助幹線道路）の体系的整備を図る ● 歩行者に優しく、憩いの空間としての道づくりを促進する
防災・経済	<p>■都市づくりの基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 災害に強い都市づくり（土砂災害警戒区域及び特別警戒区域の指定による開発行為の制限、市街地における自然的土地利用の保全、排水施設の整備）を推進する <p>■土地利用に関する主要な都市計画の決定の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 空き家や低未利用地を活用し、虫食い状の開発を未然に防止する <p>■都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公共用水域の水質保全、生活環境の改善を図る ● 効率的・効果的な污水处理施設や雨水排水施設の整備を進める ● 被害を軽減するため河川の改修、親水性や景観に配慮した潤いのある整備を図る

■方針附图

横芝光都市計画
都市計画区域の整備、開発及び保全の方針附图



成田空港周辺の地域づくりに関する「実施プラン」

<p>広域的な役割・位置づけ</p>	<p>■ 策定目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「地域の発展」と「空港の発展」とが好循環する地域づくりの早期実現を目的とし、具体的な施策事業を盛り込む ● 空港内外の状況の変化に応じ、不断の見直しを行う「成長する実施プラン」とする <p>■ 空港の将来像を支え、効果を楽しむ地域の将来像と取組の方向性</p> <p>「地域と空港を支える人材の確保」を起点とする地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 空港で躍動する地域人材の育成・確保に向けた生活環境の向上 ● 地域特性に合わせた産業振興 ● 地域と空港の発展を支えるインフラ整備 	
<p>都市的土地利用</p>	<p>■ 主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 移住・定住施策の推進 ● 子育て支援、地域医療の充実などによる安心・安全な生活環境の確保 ● 企業誘致の推進に向けた企業向けの補助金の活用 <p>■ 今後、検討すべきこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 土地利用規制（市街化調整区域、農地等）に係る関係部局との調整 	
<p>自然的土地利用</p>	<p>■ 主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の観光資源の発掘・磨き上げ <p>■ 今後、検討すべきこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公園等既存観光資源の整備充実 ● 担い手・次世代就農者のためのほ場整備 	
<p>交通環境</p>	<p>■ 主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 空港と周辺地域を結ぶバス路線の運行によるアクセス手段の拡充 ● 広域的な幹線道路や空港にアクセスする道路の整備、空港へのアクセス強化や地域振興に資する道路の整備及び圏央道と空港を直接結ぶ道路の検討 ● 地域のまちづくりを支える道路の検討、整備 <p>■ 今後、検討すべきこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 広域連携による持続可能な公共交通の検討 ● バスターミナルやバス待機場の整備 ● 芝山鉄道の延伸に関する検討及び周辺施設と連携した利活用促進 ● 鉄道施設における一部単線区間や空港内道路並びに路線バス乗降場等、処理能力を検証した上でアクセス強化に向けた方策の検討 ● 空港から地域観光資源への交通アクセスの充実 	
<p>防災・経済</p>	<p>■ 主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 栗山川の河川改修の推進 <p>■ 今後、検討すべきこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 空港の将来構想や市町のまちづくり計画の具体化に合わせた更なる社会基盤施設の検討 	

第2次横芝光町総合計画

<p>広域的な役割・位置づけ</p>	<p>■ 理念</p> <p>協働と創造による地域力発揮のまちづくり</p> <p>■ 将来像</p> <p>人・自然・文化が奏でる暮らし 夢広がる幸せ実感のまち 横芝光</p>	<p>■ 施策体系</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自分らしく生き生きと暮らせるまち ● 豊かな心と郷土愛を育むまち ● 自然と共生する住みやすいまち ● 安全で安心して暮らせるまち ● 地域の特性を活かした活力あるまち ● 相互理解と協働による住民主体のまち
<p>都市的土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 一体性のある都市づくりの推進 ● 用途地域の見直し ● 横芝光 IC 周辺の整備促進 ● 市街地整備の面的な検討 ● 成田空港の更なる機能強化を踏まえた居住地の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 産直交流施設の検討 ● 遊休公共用地を活かした観光企業の誘致 ● 市街地形成とあわせた商業機能の充実 ● 企業誘致の推進 ● 遊休公共用地の活用による住宅地の創出
<p>自然的土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 景観整備への意識啓発 ● ふれあい坂田池公園と坂田城跡との連携・有効活用 ● 公園の維持管理 ● 計画的な公園・広場の整備 ● 田園風景の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生産基盤の整備と土地改良施設の維持管理 ● 優良農地の確保・保全の促進 ● 新産地づくりの推進 ● 観光資源のネットワーク化 ● ニューツーリズムの振興
<p>交通環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市計画道路の整備 ● 幹線町道の整備 ● 道路施設の延命対策 ● 国道・県道の整備促進 ● 鉄道（横芝駅）の充実の要望 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内バスおよび乗り合いタクシーの効率性・利便性の向上 ● 公共交通の充実 ● 新たな公共交通の検討
<p>防災・経済</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間施設のバリアフリー化 ● ユニバーサルデザインの推進 ● 耐震診断・改修の実施促進（住宅） ● 町営住宅の長寿命化の推進 ● 空き家対策の検討・推進 ● 老朽配水管の計画的な更新促進 ● 合併処理浄化槽の設置促進 ● 農業集落排水施設の維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ● 合併処理浄化槽などの維持管理の推進 ● 空き地の適正管理指導 ● 航空機騒音対策の充実 ● 栗山川の改修の促進 ● 「ふるさとの川整備事業」の促進 ● 海岸侵食対策の促進 ● 防災基盤の充実 ● 防犯灯の設置・修繕

第2期横芝光町人口ビジョン及び総合戦略

<p>広域的な役割・位置づけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人口の将来展望（2040年） <ul style="list-style-type: none"> ● 約2万5千人 ■ 戦略の基本目標 <ul style="list-style-type: none"> ● 産業を振興し安定した雇用を創出する ● 横芝光町へ新しい人の流れをつくる ● 結婚、出産、子育ての希望をかなえる ● 安心して暮らせる魅力的なまちをつくる ● 地域の魅力を最大限に活用しまちを活性化する
<p>都市的土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業誘致促進事業 ● 横芝光インターチェンジ周辺開発促進事業
<p>自然的土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光企業誘致及び雇用促進事業（「こどもの国」跡地の有効活用） ● ニューツーリズム開発促進事業 ● 農業経営基盤強化促進事業
<p>交通環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 成田市方面への公共交通網整備促進事業
<p>防災・経済</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 未来を担う世代のための公共施設再編事業 ● 空き家関係条例等整備事業 ● 「空き家バンク」整備事業

横芝光町土地利用ビジョン

<p>広域的な役割・位置づけ</p>	<p>■ 将来像</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>人・モノの新たな流れを生み出す都市構造への転換</p> </div> <p>■ 戦略体系</p> <p>【居住地形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少に対応したコンパクトな市街地の形成への転換 ● 騒音問題等に対応した住環境の形成 <p>【交通網形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 圏央道整備等による広域交通体系の構築 <p>【産業振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 企業誘致・観光振興による町の活性化
<p>都市的土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 空港関連施設の就業者等、新規定住者のための新たな居住地の整備（重点戦略） ● 横芝光 IC 周辺における複合拠点の形成（重点戦略） ● 企業誘致の推進
<p>自然的土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● こどもの国跡地の有効活用（重点戦略） ● 既存観光資源の有効活用とニューツーリズム推進（重点戦略） ● 農業基盤の整備
<p>交通環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 成田空港へ直結する幹線道路の整備促進（重点戦略） ● 圏央道・銚子連絡道の整備促進 ● 町と成田空港を結ぶ新たな公共交通網の構築 ● JR 横芝駅の利便性の向上 ● 既存バスとデマンドタクシーを組み合わせた町内における交通利便性の維持・向上 ● 町道の整備・機能強化
<p>防災・経済</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家・未利用地の積極的な活用による市街地の再生（重点戦略） ● 騒音区域下における住環境対策 ● 公共施設の集約化 ● 統廃合される学校跡地の活用方策の検討 ● 安全な住環境の形成に向けた河川改修

■ 将来都市構想

- IC
- IC・PA(新設)
- 鉄道駅
- 鉄道路線
- 航空機騒音障害防止地区
- 航空機騒音障害防止特別地区
- 都市拠点
- 複合拠点
- 観光拠点
- 自動車専用道路
- 自動車専用道路(新設)
- 成田空港へ繋がる広域幹線道路(拡幅・新設)
- 広域幹線道路
- 主な幹線道路
- 主な幹線道路(新設)
- 一般市街地
- 工業系市街地
- 農業基盤の整備
- 企業誘致候補エリア
- 堤防設置の要望
- 居住地整備候補エリア



■ 重点戦略

重点戦略①	重点戦略②	重点戦略③
<ul style="list-style-type: none"> ・成田空港へ直結する幹線道路の整備促進 ・横芝光 IC 周辺における複合拠点の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・空港関連施設の就業者等、新規定住者のための新たな居住地の整備 ・空き家・未利用地の積極的な活用による市街地の再生 	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの国跡地の有効活用 ・既存観光資源の有効活用とニューツーリズム推進
<h3>■ IC 周辺整備イメージ</h3>	<h3>■ 整備エリアイメージ</h3>	<h3>■ こどもの国跡地整備イメージ</h3>

圏央道整備に係る計画（大栄～横芝間）

■ 計画概要

- 【道路名】一般国道 468 号首都圏中央連絡自動車道
 【区間】千葉県成田市吉岡～千葉県山武市松尾町谷津
 【車線数】4 車線

■ 期待される効果と役割

- 沿線都市間の連絡強化と沿線の地域づくりの支援、活性化
- 災害時等の緊急輸送路の確保
- 首都圏の道路交通の円滑化

■ 整備効果

- 地域の国際競争力の向上を支援
- 成田国際空港へのアクセス向上

■ 整備概要図



■ 整備計画図



横芝光町公共施設等総合管理計画

■ 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

- 住民ニーズと施設の機能重複等を勘案し、新規の公共施設整備に当たっては慎重に整備を検討する
- 公共施設の更新・改修の実施については、「複合化・集約化」により行うことを基本とする
- 本計画対象期間中（令和 8 年まで）において総延床面積 10%の削減を目指す
- 管理運営に掛かる維持管理費や運営コストの低減を前提にした施設運営を目指す

■ 主な公共施設の施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

施設累計	主な基本方針	施設累計	主な基本方針
町民文化系施設	利用率の低い施設の多機能化による有効活用、大規模改修又は建替えの際の複合化・集約化の検討	保健・福祉施設	予防保全の視点での管理
社会教育系施設	広報や展示企画の充実、運営方法の検討	行政系施設	施設の長寿命化、類似施設等の集約化や除却の検討
スポーツ・レクリエーション系施設	広域での利用の促進、町外からの集客につながる方策の検討、計画的な改修	公営住宅	入居率と老朽化調査による適正管理、改修や除却の検討、民間サービスの利用促進
学校教育系施設	長寿命化計画の策定、大規模修繕の計画、空き教室等の有効活用	公園	施設の設備や機能等の定期点検、予防保全の視点での管理
子育て支援施設	大規模改修の計画、適切な施設保有量・配置の検討	供給処理施設	横芝工業団地連絡協議会への無償貸与、定期的な適正管理

2 都市の主要課題と求められる対応方向

本町の現況及び住民意向調査の結果を踏まえ、本町が直面する都市づくりの主要課題と、その解消や実現に向けた対応方向を次のように整理します。

人口動向

主要課題

- 町全体で人口は減少傾向。特にまちの中心部（駅周辺）で今後人口減少が想定される。
- 高齢化の進展が著しく、大総地区などでは高齢化率が40%に近づいている。
- 成田空港の更なる機能強化に伴う若年世代の就業者等の定住を促進する必要がある。

対応方向

- 高齢化社会に対応した都市づくり
- 人口減少を想定した都市づくり
- 空港関連施設の就業者等の若年世代にとって魅力的な都市づくり

都市的土地利用

主要課題

- 国道126号沿道を中心とした商業施設、役場周辺の公共機能の集積、救急告示病院である東陽病院等、用途地域内に拠点となり得る機能が比較的集積しているが、拠点間の連携が不足している。
- 成田空港の更なる機能強化により企業の立地ニーズが高まっており、横芝光IC周辺においては、産業系土地利用への転換に向けた取組が検討されている。
- 航空機騒音障害防止地区の指定により、今後住宅用地から他用途（商業・業務地等）への転換が発生する可能性がある。騒音の少ないエリアの居住地確保が必要。
- 用途地域外の集落における人口減少に伴うコミュニティ衰退、空き家の発生が懸念。

対応方向

- 地域の既存機能・ポテンシャルを活かした拠点形成
- 産業の振興、拠点形成に向けた環境整備
- 土地利用の変化を想定した都市計画環境の整備
- 用途地域外集落の維持・改善

自然的土地利用

主要課題

- 農業後継者不足による農地の荒廃が見られる。
- 用途地域の指定外においては、農業振興地域が指定されているが、遊休農地の増加が見られる。
- 海岸部や栗山川、坂田城跡など、地域資源・歴史資源が豊富にあり、これら資源の有効活用が求められる。

対応方向

- 優良農地の保全・管理
- 田園景観や海辺の景観の保全・育成
- 多様な地域資源の保全と有効活用

交通環境

主要課題

- 圏央道や銚子連絡道路の延伸により、広域ネットワークの飛躍的な発展が期待できる。
- 国道 126 号や鉄道（総武本線）により、東西を繋ぐ交通ネットワークは確保されているが、町と成田空港方面を繋ぐネットワークが弱い。
- 公共交通は町内バス、デマンドタクシーが運行しているが、利用者の確保が課題である。広域の路線として、横芝光号成田便及び空港シャトルバスが運行しており、成田空港の更なる機能強化により今後ニーズが高まることが想定される。

対応方向

- 広域道路網の整備促進
- 地域間の円滑な移動や人口減少社会に対応した公共交通ネットワークの形成
- 町と成田空港方面を繋ぐ交通ネットワークの形成（道路網、公共交通網）

防災・経済

主要課題

- 上堺地区、白浜地区の沿岸部において津波浸水想定区域、栗山川沿いに浸水想定区域が指定されている。
- 効率的な行財政運営に向けて、公共施設の統廃合が必要となる。

対応方向

- 自然災害に強い安全・安心の都市づくりの推進（ハード・ソフト両面の整備）
- 効率的な行財政運営に向けた公共施設の再編

3 都市の将来像

第2次横芝光町総合計画では、町の将来像として「人・自然・文化が奏でる暮らし 夢広がる幸せ実感のまち 横芝光」を掲げています。横芝光町都市計画マスタープランにおいても、基本構想に掲げる将来像を本マスタープランの都市の将来像とします。また、都市づくりの目標については、基本構想に掲げる将来像及び都市づくりの課題を踏まえ、次の通り設定します。

(1) 将来像

第2次横芝光町総合計画で掲げられた『人・自然・文化が奏でる暮らし 夢広がる幸せ実感のまち 横芝光』を本計画においても踏襲します。

人・自然・文化が奏でる暮らし 夢広がる幸せ実感のまち 横芝光

(2) 都市づくりの目標

将来像の実現に向けて、都市計画として目指すべき都市づくりの目標を、本町を取り巻く社会情勢の変化等を踏まえて以下の通り設定します。

目標 1 空港との連携による共生・共栄の都市づくり

- 空港関連従事者の増加を見据えた新たな住宅供給とそれに伴う都市機能の充実に向けた都市づくり
- 圏央道等の広域ネットワークや成田空港の更なる機能強化の波及効果を最大限に活用した都市づくり

目標 2 栗山川を中心として一体性があり、人・自然・文化が共生する都市づくり

- 町の中心にあり古くから地域の人々の暮らし（生活や産業）の基盤であった栗山川について、町のシンボルとして一体性（感）を醸成する都市づくり
- 横芝駅周辺地区、役場や東陽病院周辺地区の区域を本町の中心拠点として育成する都市づくり

目標 3 新たな産業地の形成と農業振興と連携した地域振興等による活力ある都市づくり

- 成田空港への近接性や圏央道・銚子連絡道路の整備により向上する交通条件を活かし、新しい産業の誘致を図る都市づくり
- 地域の豊かな自然・歴史・文化遺産、農畜産物等の地域資源を活かした農業振興と連携した観光等地域産業の振興や、農業と観光と商業の連携促進等による活力ある都市づくり

目標 4 誰もが安全に安心して快適に暮らし続けられるコンパクトで利便性の高い都市づくり

- 住民の生活を支援する施設（コミュニティ機能、保健福祉医療機能、子育て機能、身近な商業機能等）を充実し、快適に暮らし続けられる集約型都市構造の形成
- 誰もが移動しやすい地域の実情に即した公共交通サービスの提供
- 誰もが安心して快適に暮らしていくために、住民・事業者・行政が連携し地域全体が支え合う協働の都市づくり
- 空き家を有効活用した居住環境による賑わいのある都市づくり

4 将来都市構造

本町の将来都市構造については、人や物が集う場所としての「拠点」、同じ特性を持った土地利用が連続して広がる範囲を示す「ゾーン」、人や物が動く主要な動線としての「軸」の3つの要素に分類して設定します。

拠点（都市の核として都市機能や人口密度の向上を図るエリア）	
都市拠点 （横芝駅周辺）	<p>横芝駅周辺を都市拠点（横芝駅周辺）として位置づけます。</p> <p>町の中心・交通結節点として、商業・業務・サービス機能の集積を促進するとともに、沿道商業地隣接地区では、空き家・未利用地を活用した居住地整備を図ります。</p> <p>また、横芝駅前情報交流館「コリドコロ」の設置により観光事業の推進環境が整えられていることから、観光拠点としての機能維持・充実を図ります。</p>
都市拠点 （IC・役場周辺）	<p>横芝光 IC 周辺地区と役場・町民会館・体育館・図書館・光文化の森公園等の公共公益施設が集積している地区及び東陽病院周辺地区を都市拠点（IC・役場周辺）と位置づけます。</p> <p>役場周辺地区では、多様な住民のニーズに対応し、既存のサービス機能の維持・充実を図るとともに、空き家・未利用地を活用した居住地整備を図ります。</p>
複合拠点 （IC 周辺）	<p>横芝光 IC 周辺地区では、広域交通への優れたアクセス性や市街地との近接性を活かし、雇用の創出や住民の生活利便性の向上、観光促進等に資する機能の導入を推進します。</p>
産業拠点	<p>既存の横芝工業団地と、ひかり工業団地及び北清水地区の工場集積地を産業拠点として位置づけます。</p> <p>成田空港の更なる機能強化や圏央道の整備等による、立地環境の向上や交通条件の改善を生かし、操業環境の保全・育成を図ります。</p>
海浜交流拠点	<p>マリニアクリやまがわ、栗山川漁港、屋形海岸一帯を海浜交流拠点として位置づけ、駐車場等の環境整備を進め、魅力と利便性の向上を図ります。</p> <p>こどもの国跡地については、上記施設との一体的な活用を検討し、海浜レクリエーション地としての魅力向上に努めます。</p>
生活交流拠点	<p>旧大総小学校、日吉小学校、旧南条小学校、上堺小学校、白浜小学校周辺地区を日常生活（コミュニティ）の中心として生活交流拠点に位置づけ、既存の集積を生かしながら公共サービス・情報機能等日常生活サービスの利便性の向上を図ります。</p> <p>旧大総小学校、旧南条小学校については、多様な主体との連携・協働のもと、地域の活力創出に資する新たな利活用を図ります。</p>

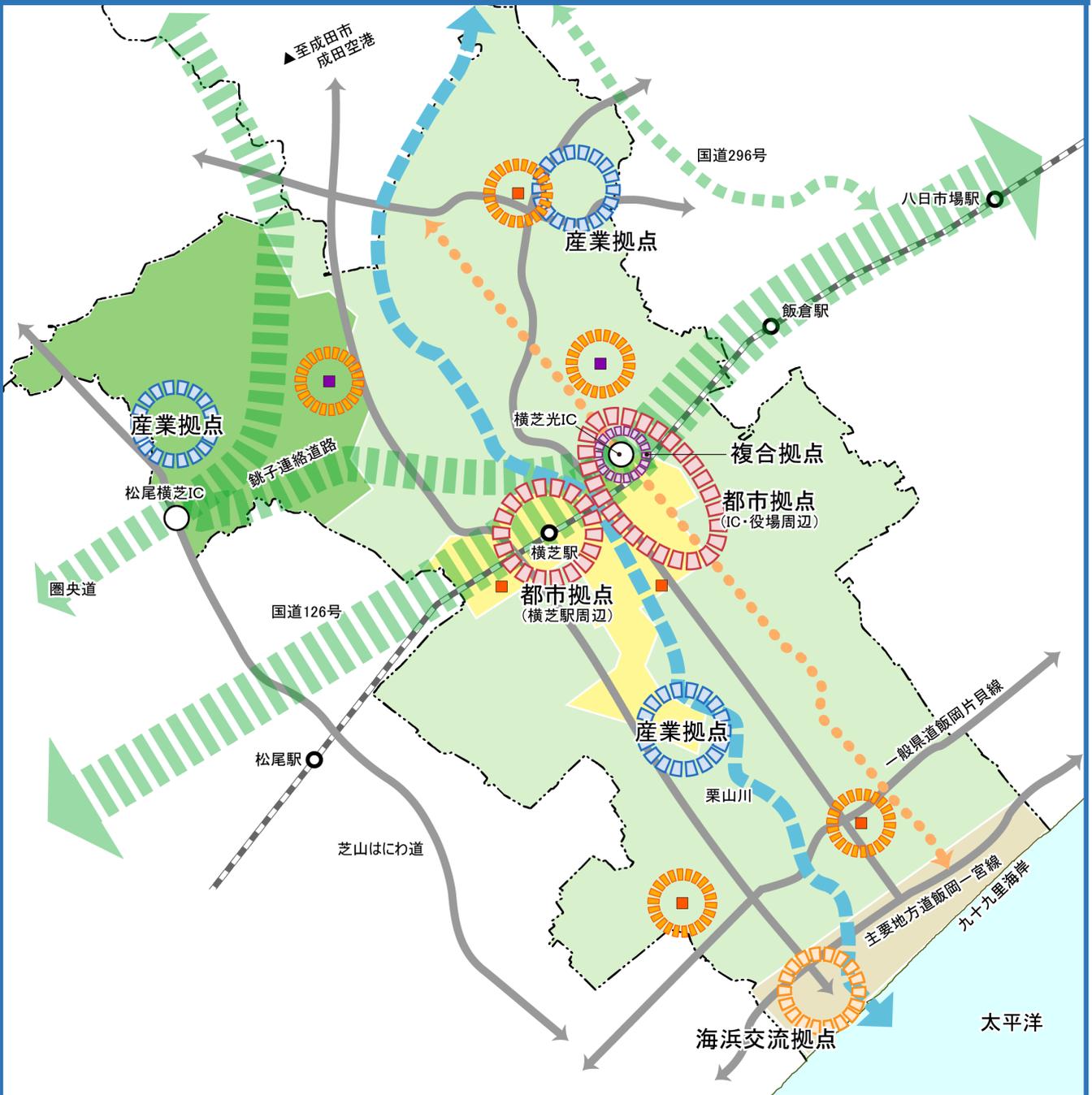
ゾーン（同じ特性・役割を有する連続した土地）

市街地ゾーン	<p>用途地域が指定されているエリアを市街地ゾーンと位置づけます。</p> <p>本ゾーンでは、既存の都市機能や公共サービスを活かしながら、日常サービスの利便性向上と少子高齢化に対応した機能的かつコンパクトな市街地環境の整備を推進します。</p> <p>成田空港の更なる機能強化により拡大した航空機騒音障害防止地区への新たな対策や新規就業者のための宅地確保手法についても検討を行います。</p>
自然環境共生ゾーン	<p>北部の樹林地一帯を自然環境共生ゾーンと位置づけます。</p> <p>本ゾーンでは、森林等の自然環境の維持・保全を進めつつ、整備が予定されている圏央道の広域連携機能を生かした新たな土地利用の展開について、自然環境への影響に配慮しながら計画的に推進します。</p>
田園環境共生ゾーン	<p>北部の栗山川沿いから北東部及び南部から中央部に広がる農地・集落地一帯を田園環境共生ゾーンと位置づけます。</p> <p>本ゾーンでは、水田等の良好な田園環境の維持・保全と、田園環境と調和したゆとりある田園集落環境の形成を促進します。</p>
海浜交流ゾーン	<p>海岸側の用途地域以南の、公園や海浜等のエリアを海浜交流ゾーンと位置づけます。</p> <p>海浜や九十九里海岸の美しい白砂青松を将来にわたって保全・育成していくとともに、海浜レクリエーション地としての交流機能や栗山川漁港の利活用と連携した活性化を推進します。</p>

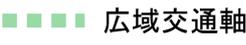
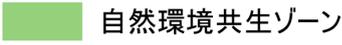
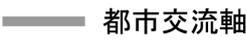
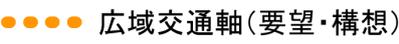
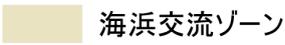
軸（人や物の円滑な移動を確保する主要な動線）

広域交通軸	<p>東京・千葉方面及び銚子方面等への広域的な都市間を連絡する交通軸として、JR 総武本線、圏央道、銚子連絡道路、国道 126 号及び国道 296 号を位置づけ、交通結節点としての駅前広場の機能充実や、IC アクセス道路の整備促進などにより機能強化を推進します。</p> <p>また、成田空港の更なる機能強化の波及効果を最大限享受するため、成田空港方面とのネットワーク形成に資する道路（要望道路）を広域交通軸として位置づけ、整備を促進します。</p>
都市交流軸	<p>広域交通軸を補完し、周辺都市との連絡や国道 296 号等の本町の外周を通る国県道へのアクセスと町内のゾーン間を連絡するとともに、市街地の骨格を形成し効率的で円滑な都市活動を支える県道・都市計画道路等を位置づけ、東西、南北方向の格子状の幹線道路ネットワークを形成します。</p> <p>都市拠点の外郭を構成する環状線を位置づけ、都市拠点内への通過交通の抑制を図り、都市拠点内において、安全性の高い交通環境の形成を図ります。</p>
水と緑のネットワークの軸	<p>本町を南北に貫く栗山川を軸として主要な地区間及び主要な公園や地域資源を結ぶように、歩行者や自転車交通に対応した水と緑のネットワークを位置づけます。</p> <p>また、東西方向の交通軸と交わる主要な箇所周辺については、住民等が交流する親水空間の形成を図ります。</p>

将来都市構造



凡例

- | | | |
|--|---|---|
|  都市拠点 |  市街地ゾーン |  広域交通軸 |
|  産業拠点 |  自然環境共生ゾーン |  都市交流軸 |
|  海浜交流拠点 |  田園環境共生ゾーン |  広域交通軸(要望・構想) |
|  複合拠点 |  海浜交流ゾーン |  水と緑のネットワークの軸 |
|  生活交流拠点 |  小学校 |  小学校(閉校) |